

B-60 ウーリー・ナイロンの捲縮性におよぼす セット温度とドラフトの影響

大阪市大 田中 道一
○弓削 治

1. ウーリー・ナイロンの捲縮性は、セット温度とドラフトの変化によって影響を及ぼす。これらの糸で作ったメリヤスの影響を、捲縮、伸び、弾性などについて研究を行なうのを目的とする。

2. ウーリー・ナイロンの製造には、東芝製FS型仮撚機を用い、送り出し速度70m/minに一定、セット温度を145°C、160°C、175°C、190°C、ドラフトを0%、4%、8.64%に変化させて加工糸を製造した。またそれらの原糸を用いて、メリヤス布を編成し、これらを東洋測機製テンシロン試験機を使用して、その弾性的性質な

どを研究した。

3. 捲縮については、セット温度、ドラフトともそれぞれ高くなるにしたがって捲縮度は高くなる。かさ高性については、ドラフト0%のものはセット温度が高いほど、かさ高性も高くドラフト4%、8.64%のものはセット温度が高くなるにしたがって、逆に、かさ高性は低くなる傾向がある。その他、糸、編地の弾性についても報告する。